

令和6年度 内子高等学校 シラバス

教科	国語	科目	論理国語	単位数	3単位 2単位	学年	3学年
教科書	新論理国語 (三省堂)		副教材等	デジタル版カラー版新国語便覧 (第一学習社)			

1 学習の目標

- ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	7 具体と抽象の関係を理解するために (多様な論点を結び付ける) この十年をどう生きるか (必要な情報を関連付ける) プラスチックごみについて考える (考えを相対化する) 説得力のある文章を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めます。</li> <li>・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えます。</li> <li>・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価します。</li> <li>・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりします。</li> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにします。</li> <li>・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりします。</li> </ul>	中間 期末 考查
第2学期	8 批評するために (批判的に検討する) 言語ゲームと哲学的感度 (書き手の立場や目的を考える) 日本マンガのブルーオーシャン戦略 (論理の明晰さを確かめる) 報告文を書く  9 情報を関連付け自分の解釈を形成するために (必要な情報を関連付ける) 学びとは何か (内容の解釈を深める) 文系と理系の壁はあるか (主張が的確に伝わるか吟味し修正する) 自己推薦文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めます。</li> <li>・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めます。</li> <li>・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めます。</li> <li>・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫します。</li> <li>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい旨を把握します。</li> <li>・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めます。</li> <li>・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりします。</li> <li>・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫します。</li> </ul>	期末 考查
第3学期	10 解釈を広げたり深めたりするために (考えを広げたり深めたりする) 科学に限界はあるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにします。</li> <li>・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めます。</li> </ul>	

### 3 評価の規準

#### 【知識・技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

#### 【思考・判断・表現】

「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

### 4 評価方法

学期ごとに、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期考査、単元テスト、小テスト、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

### 5 学習のアドバイス

- ・ 語句の意味は辞書を引いて調べるなどして、語彙を豊かにすることで、自分の表現に役立てましょう。
- ・ 指示語や接続詞、具体・抽象などに注目したり、筆者の主張を要約したりすることで、読解力を身に付けましょう。
- ・ 文章や資料を詳しく読み、理解したことをもとに、自分の考えを深めたり広げたりしましょう。言語活動や表現活動に意欲的に取り組み、他の生徒と話し合うことで、説得力や問題解決力が身に付きます。
- ・ 文章を読んで関心をもった事柄などについて読書をしたり調べたりして、更に知識を深め、学びの幅を広げましょう。